

## 5月 活動報告書

開催月日・時間	令和 6年5月23日 10時～12時
開催場所	三滝寺
参加人員	16名

### 活動内容等

お天気は薄曇りで樹木観察にはちょうどいい日和です、午前10時の三滝駅集合。新入会員6名をふくむ総勢16名、全員の自己紹介を済ませてからスタートです。

三滝駅から坂を少し登ったところに日渉園跡(広島大学薬草園)があります。まずそこでコウヨウザン(広葉杉)の観察です、葉の幅が普通の杉とは異なっています、杉は音読みで(ザン)なのですね、ほんとに良く知っている杉の葉とはちょっと違います。

これはアオキですよ、との声が、幹が緑色をしていることからの命名だそうです、成木で幹が緑色とは珍しいですね、ということでアオキ(青木)です、(緑木)とは呼びません、昔から日本では緑を青と表現することが多いですね、緑の森を見て(目に青葉～～)なんて言いますから、交通信号の(進め)は緑色ですが青信号って言います、なーるほど。

三滝寺までの途中にある公園にセンダンの木が、きれいな薄紫の小さな花の集まりが見えます、きれいですね、秋にはうすい黄色の実がたくさん生り、小鳥がしばみに来るそうです。

左手の植え込みに小さな赤紫色のラツパ状の花が、ウメの花ですか、違いますよ、ウメの時期はとっくに過ぎましたよ、ああそうですね、すると講師より、これはウツギ(空木)ですよ、知っていたウツギよりだいぶ違っていています、枝の中心が空洞になっていることからの命名だそうです、ウツギも種類が多いこと勉強になりました。

本堂まで上がってくると、かわいい小さな花がたくさん咲いている低木が、だれかがシラサギでしたっけ、違います、これはハクチョウゲ(白丁花)です、資料にかいてありました。

一両、十両、百両、千両、万両、億両という木があり、どの木も赤い実が生るそうです、と講師から説明があると、十両の俗称は(ヤブコウジ)ですね、と誰かの声が、さすが木楽会です。

節と節の間が広いトウチクや 花が葉の裏に下がっているホウチャクソウも見ることができました。

会話が弾み、いろんな草木の情報を得ることができた一日でした。